広報 にしあいづ

4

2021
No.750

もくじ　－Contents－

P2　特集　令和3年度 町政方針

P8　まちの話題
第3回町長杯西会津かるた大会、西会津高校卒業証書授与式、
ボランティア感謝祭　ほか

令和３年度 町政方針

所信表明

コロナ禍でも町民の皆さんが安心して生活できるよう、まちづくりを進めていく

３月５日に開会した町議会３月定例会で薄友喜町長が所信を表明しました。

昨年から続く新型コロナウイルス感染症の猛威は、国内外はもとより町内経済や私たちの日常生活に長く大きな影を落としています。引き続き、町内各所において徹底した感染症対策を講じていただいておりますが、町民の皆さんには、新しい生活様式への順応など何かとご苦労をおかけしています。町では、町民の皆さんが安心して日常生活を送ることができるよう、国・県の指導などに基づきワクチン接種事業をスピード感を持って取り組み、新型コロナウイルス感染症による重症化予防とまん延防止に努めてまいります。

令和３年度も町総合計画で定めた町の将来像、まちづくりの方向性に基づき、各種施策をしっかりと進めていくこととし、町の発展のために最大限努力していく覚悟です。

町に活気を取り戻し、コロナ禍が終息した後には、全国から多くの人に足を運んでもらえる「賑やかで何かが起きそうな町」にするため、職員と一丸となって取り組んでまいります。

基本方針

令和３年度は、引き続き西会津町総合計画（第４次）に基づき、町の将来像「笑顔つながり 夢ふくらむまち～ずーっと、西会津～」の実現に向け、「健やかな人をともに育むまちづくり」「温故創新 地産地笑のまちづくり」「いきいき健康 こころつながる まちづくり」「誰もがここちよく暮らせるまちづくり」の方向性の下、各種事業を総合的に実施していきます。

特に、人口減少対策の３本柱として「人材育成」「移住定住の促進」「健康長寿」を事業推進の基本的な考え方に据え取り組むとともに、令和２年度に策定した「西会津町デジタル戦略」に基づき、持続可能なまち「サスティナブルタウン※」を目指したまちづくりを進めていきます。

※サスティナブルタウン…人、社会、自然環境など町全体が将来にわたって持続可能で、それらを次世代に引き継いでいく町のこと。

健やかな人をともに育むまちづくり

子育て支援

町の将来を担う子どもたちの健やかな成長に向けて、安心して子どもを産み育てられる子育て環境の充実を図っていきます。

本年度は、町総合計画のプロジェクトXの一項目である「子育てコミュニティづくり」について、屋内遊び場や保護者同士のコミュニケーションが図られるよう、子育て支援と学びを併せ持った施設として、「子育てコミュニティ施設（仮称）」の整備を進めていきます。

教育環境

町では、県内の他市町村に先駆けて小・中学校の児童生徒全員に１人１台タブレット端末を配布するなどハード面の環境整備が完了しました。令和３年度以降はこのICT教育環境を最大限に活用するため、小・中学校にICT教育支援員や地域おこし協力隊を配置し、児童生徒や教職員を支援するとともに、学習教材アプリやデジタル教科書などソフト面の支援を強化しながら、「学校での学び」と「家庭学習」による「ハイブリット型の新しい学び」を推進していきます。

町独自の施策では、引き続き非認知能力の向上を図るため、町の歴史や文化、自然、産業などを学ぶ「西会津こども研幾塾」、国際社会に対応できる豊かな人間性を身に付けるための「英語教育・海外異文化体験事業」、英語力の向上を目指すための「英語検定受検料への補助支援」などに取り組んでいきます。

▲町の農業について学ぶ西会津こども研幾塾塾生の皆さん

また、新たに学校教育アドバイザーを配置し、学校現場での指導助言をはじめ、小・中学校、こども園とのつながりを強化し、幼児教育と義務教育との円滑な接続を図るため、保育士・教職員の連携を促進していきます。

学校・家庭・地域の連携については、令和２年度から学校運営協議会（コミュニティ・スクール）制度が始まり、地域の皆さんに学校運営に参画いただいていることから、今後も地域学校協働本部事業とも連携して、本町の特色ある地域の教育力を活用し、地域とともにある開かれた学校運営を進めていきます。

生涯学習

生涯を通した人材の育成を目指し、町のデジタル化推進のため、初心者向けタブレット講習会や、西会津の伝説・民話集作成事業など、町民一人一人が主体性をもって生涯学習に取り組める場を提供します。さらには、銀行の通帳のように読んだ本の金額が記帳される「読書通帳」の事業を新たに導入し、読書の推進に努めていきます。

温故創新（おんこそうしん）
地産地笑（ちさんちしょう）のまちづくり

スポーツ

運動の習慣化に向け、気軽に取り組めるグラウンドゴルフやカローリングなどのニュースポーツの普及を進めるほか、ふくしま駅伝などの市町村対抗競技の競技力向上、スポーツクラブやスポーツ少年団などの団体支援を引き続き行っていきます。

▶ふくしま駅伝

歴史・文化・芸術

令和2年度開催予定で延期していた英国の冒険家イザベラ・バードのゆかりの地である「車峠」を題材とした講演会などの実施や、伝統芸能である「屋敷の人形芝居」の復活に向け、保存会の設立などの事業や小学校のクラブとの連携を図っていきます。

農林業

担い手不足や鳥獣被害の拡大、コロナ禍による米の消費減少など、農林業を取り巻く環境は依然として厳しい状況です。町では、米・ミネラル野菜・菌床キノコの振興を3本柱とし、農林業の所得向上を目指し、地域の実情に沿った振興策に取り組んでいきます。また、各分野の目標を達成するための工程を明確にする行動計画の策定と、総合的な課題解決に向けた農業公社設立の可能性について調査・検討を進めていきます。

◎西会津産米

本町の主要農産物である米については、品質向上を図るため、引き続き「西会津一うまい米コンテスト」の開催や全国コンクールへの出品などを実施するほか、雪室を活かした販売強化の取り組みを進めていきます。

◎ミネラル栽培

4戸の生産者へ12棟のパイプハウスを整備・貸し付けし、スマート農業の導入推進と栽培指導専門員を核としたデータに基づく指導体制の確立により、さらなる生産拡大を図っていきます。

◎菌床キノコ

町の大規模産地化を目指した支援や生産者の法人化などにより生産体制が確立され、昨年は、生シイタケについて目標である年間生産量100トンを達成しました。本年度は、年々進化する生産技術への対応としてパイプハウスへの高性能断熱材の追加整備に取り組んでいきます。

▲町内産シイタケ

◎鳥獣被害防止対策

新たに、鳥獣被害対策担当の地域おこし協力隊を募集し、既に1名配置している鳥獣被害対策専門員の2名体制を目指すとともに、地域の自主防衛力の強化とわな猟免許取得者が効果的に活動できる体制整備に重点を置き取り組んでいきます。

▲町内で設置が進む電気柵

電気柵などによる被害防止、集落周辺の環境整備による出没抑制、加害個体の捕獲といった基本となる対策の効果が十分発揮されるよう、電気柵の大幅な設置拡大、ICTを活用した対策の推進、わなの増設とわな猟免許の取得支援など、複合的な取り組みを進めていきます。

◎風評払拭（ふっしょく）

福島第一原発事故に伴う農林産物への風評被害については、引き続きモニタリング検査などの実施により、安全・安心な農林産物の出荷、販売に取り組むとともに、風評払拭に向けて、柔軟かつ積極的に対応していきます。

商工業

企業に対する除雪経費の補助やPR経費への補助を新たに行うなど企業支援補助金を拡充したほか、「中小企業振興資金保証融資制度貸付事業」や「中小企業融資制度資金利子補給補助金交付事業」などを実施し、町内企業などの支援を進めます。また、「無料職業紹介事業」による地元企業への雇用の創出・確保や、「創業支援事業」や「空き店舗および空家利活用補助事業」などによる新たな創業への支援を図っていきます。

さらに、野沢中心街のにぎわいを創出するための「まちなか再生拠点施設事業」にも新たに取り組んでいきます。

観光・交流

新型コロナウイルス感染症の動向を注視しながら、「西会津ふるさとまつり」、「西会津雪国まつり」、「西会津なつかしcarショー」など、町内外から多くの来場者があるイベントを実施し、情報発信と関係人口・交流人口の拡大を図っていきます。

また、にしあいづ観光交流協会などの関係団体や、西会津応援大使の皆さんと連携し、観光資源の整備や広域的な周遊観光の促進、町の魅力発信とさらなる交流人口・関係人口の拡大に取り組んでいきます。さらに「活力ある地域づくり支援事業」を推進し、地域づくりに自主的に取り組んでいる皆さんを積極的に支援し、地域資源の磨き上げとそれらを活用した地域の活性化を図っていきます。

▲西会津ふるさとまつり

移住・定住

「移住・定住総合支援センター」を町役場内に設置し、空き家バンクの充実やお試し移住住宅のさらなる活用を推進するとともに、移住者に寄り添った質の高い支援と情報発信に取り組んでいきます。後継者対策事業については、町後継者対策協議会から提案された事業を実施し、出会いから成婚までつながるよう取り組んでいきます。

いきいき健康
こころつながる
まちづくり

健康づくり

町民の皆さんの健康づくりのための健康コミュニティづくり推進事業が3年目を迎えました。鎌田實先生や奥知久先生の指導を受けながら、専門職員が習得した技術を生かし、集落や地域での健康づくり座談会の活動を広げていきます。

また、昭和39年から設置している「保健指導員」について、時代とともに活動内容が変化しており、健（検）診の受診勧奨や健康教育の啓発など町の保健事業への協力が主な活動内容となっていることから、活動内容がイメージしやすい「健康づくり協力員」に名称を変更します。健康づくりの基本となる「食」の大切さの普及と「運動」の習慣化に向けて、食生活改善推進員や健康運動推進員とともに健康づくり協力員の活動を強化し、健（検）診の受診率の向上と要精検者の受診率向上に努め、病気の早期発見・早期治療につなげていきます。

さらに、年間を通じた健康づくりのため「家庭血圧測定」と「健康ポイント手帳」の普及を継続し、町民の皆さんが自分の健康を意識できる仕組みづくりを進め、働き盛り世代への「ラジオ体操」を活用した運動の習慣化にも取り組んでいきます。また、新たに「がん治療サポート事業」を創設し、がんになっても自分らしく生きることができる社会の実現を目指します。

▲健康づくり座談会

医療

町国保診療所は町民の皆さんへの医療提供のほか、町内の施設入所者への診療や学校医など、町内の医療サービスを担っていることから、引き続き常勤医師の確保に努め、安心できる医療体制の整備と安定した地域医療サービスの充実に努めていきます。

高齢者福祉

「西会津町第8期介護保険事業計画・第9期高齢者福祉計画」に基づき、元気な高齢者から要介護高齢者まで全ての高齢者の皆さんが、切れ目なく介護予防に取り組める体制を整備していきます。医療や介護サービスについて

誰もがここちよく暮らせるまちづくり

も、円滑な連携のための支援体制づくりを進め、新たに奥川地区に整備した「小規模多機能型居宅介護施設」を加えた介護サービス基盤により、一層充実した在宅介護サービスを提供していきます。

▲奥川・中町に整備された小規模多機能型居宅介護施設「高陽の里」（3月8日撮影）

また、認知症に関連する相談が増えていることから、本人とその家族に寄り添った支援や、地域における認知症に対する理解を広げ、認知症にやさしいまちづくりを進めていきます。

地域での見守り体制については、高齢になっても住み慣れた地域でその人らしい生活ができるように、サロンや地域ネットワークづくりを支援し、見守り協定を締結した郵便局や宅配業者などとの連携を強化していきます。

▲各地区で行われているサロン活動。体操やお茶飲みなど活動はさまざま

社会福祉

「西会津町第6期障がい者計画・第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画」に基づき、「西会津町授産場」や「障がい相談支援事業所にしあいづ」、「にこにこ相談所」などと連携しながら、誰もがともに安心して生活できるまちづくりに取り組んでいきます。

コミュニティ

人口減少や少子高齢化が進む中、集落機能の維持や集落活性化に向け、引き続き集落支援員1名と集落支援担当の地域おこし協力隊2名を配置します。また、これまでの奥川・新郷地区だけではなく、尾野本・群岡地区にも範囲を広げ、さまざまな視点で支援に取り組んでいきます。

雪対策

町雪対策基本計画に基づいた取り組みを進め、町民生活に支障を来さないよう、道路除雪に努めるとともに、除排雪に必要な施設整備をはじめ、除雪ドーザなどの更新を計画的に進めていきます。

また、高齢者世帯などが冬期間でも安心した生活が送れるよう、雪処理支援隊の充実と除排雪費用助成事業を進めていきます。

交通体系 道路網

町民バスについては、デマンドバスの利便性の向上に向け、運行ダイヤの検討や当日予約の時間短縮などに取り組むほか、5つの定時定路線により、きめ細かな運行を実施しています。町民の皆さんからも好評をいただいており、今後も評価、検証を重ね、改善を図っていきます。また、野沢坂下線運行車両の老朽化に伴い、小型バスを更新整備し、設備の充実も図っていきます。

▲定時定路線バス

道路網の整備については、安全・安心の確保と持続性ある地域づくりを支え、良質な社会資本を将来に引き継ぐため、効果的な整備と効率的な維持管理に努めていきます。

また、町道の改良事業は、地域からの要望などに基づき計画的に整備を進めていきます。老朽化している橋梁やスノーシェッドなどの修繕事業は、点検結果と長寿命化修繕計画に基づき、損傷度や路線の重要度などを勘案しながら、修繕を進めていきます。舗装についても、路面性状の調査に基づき計画的な修繕を進め、農道や林道については、その開設目的に合った維持管理に努めていきます。

国・県道については、町の重要幹線として、その整備や適正な維持管理を関係機関へ要望していきます。特に町縦貫道路の区間については、早期完成に向けた整備促進を積極的に要望していきます。

情報通信

令和元年度から進めているケーブルテレビの映像機器高度化更新事業が今年5月31日で完了予定であり、BS4K放送の視聴環境が整います。また、町インターネットサービスでは、利用者のデータ使用量の増加に伴い、本年度、上位回線の速度を2Gbps（ギガビーピーエス）に増速しました。今後は、加入状況やデータ使用量の増加を見据え、10Gbpsに増速し、さらなるサービスの向上を図っていきます。

消防防災 安全対策

消防設備については、消防普通積載車1台と小型動力ポンプ2台を更新整備するほか、各種消防施設の修繕など設備の充実を図りながら、消防関係団体と連携し、予防消防の徹底を図っていきます。また、防災対策については、防災ハザードマップを更新し、さらなる自助・共助・公助の防災意識の醸成を図っていきます。

▶町総合防災訓練での要支援者避難訓練の様子

自然・環境保全

老朽化が進んでいるさゆり公園施設の計画的な更新により、利用者の利便性の向上を図るほか、福島レッドホープスとの連携などによる施設の有効活用に積極的に取り組んでいきます。

▲福島レッドホープス

上・下水道の整備

安全で安定した飲料水を供給するため、老朽管や施設設備の更新を計画的に進め、水道未普及地区の解消などにも引き続き取り組んでいきます。また、下水道については、施設の長寿命化対策と施設の統合により効率的な運営に努めるとともに、個別排水処理事業の普及を促進していきます。

計画の推進に向けた取り組み

「まちづくり基本条例」に基づく協働のまちづくり・町民主体のまちづくりをより一層推進し、「官民連携」による効率的で効果的な事業運営を進めていきます。

また、ふるさと応援寄附金事業については、魅力あるまちづくりのための財源確保につなげるため、取り組みを一層充実させていきます。さらに、町民生活の中心で、町観光の玄関口でもある野沢・尾野本地区の再生・魅力化を図るための将来構想として、「中心エリア整備構想」の策定を進めていきます。

新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、将来に夢と希望が持てる活気のあるまちづくりに取り組んでいきますので、町民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

それぞれの未来に向かって 新たな一歩

西会津高校卒業証書授与式

西会津高校の卒業証書授与式が３月１日に行われ、12 人の卒業生が慣れ親しんだ学びやを旅立ちました。

式では、佐藤秀雄校長が卒業生一人一人に卒業証書を手渡し、「今日を新たな出発点として、校訓である不撓不屈・質実剛健の精神で歩み続けていってください」と式辞を述べました。続いて、薄町長をはじめとする来賓の皆さんが祝辞を述べ、卒業生の皆さんへはなむけの言葉を贈りました。

在校生代表送辞は渡部響祐（きょうすけ）さんが務め、式の最後には齋藤祐樹さん（写真左下）が「それぞれが選んだ道で苦労や困難にぶつかっても、西会津高校の校訓とお世話になった先生方や家族への感謝の気持ちを胸にしっかり歩いていきます」と答辞を述べました。

コロナに負けず ICT を活用した授業を展開

タブレット端末で授業充実

西会津高校では、感染症対策を実施しながら日々の教育活動を行っています。最近はＩＣＴ機器を活用してさらなる授業の充実に努めています。例えば、体育の授業でタブレット端末を使い、バスケットボールのシュートフォームを生徒がお互いに撮影しながら上達を目指したり、総合的な探究の時間では、西高の活性化を支援している一般社団法人 i.club の皆さんとオンラインで結び、発表を見てもらいながらアドバイスを聞いたりしています。西会津高校では、家庭学習でもＩＣＴ機器を使ってやりとりができるよう、現在整備を進めています。

日頃の活動に感謝を込めて

西会津町ボランティア感謝祭

３月４日に第 16 回ボランティア感謝祭が開かれ、中止により昨年度の表彰ができなかったため、本年度と合わせて 17 人の皆さんに、活動時間数に応じた達成章がボランティア活動サポートセンターの荒海興志男会長から贈呈されました。また、受章者を代表して、杣木羊子さんと望月勝雄さんが活動報告を行いました。金色達成章（500 時間）＝３人、銀色達成章（300 時間）＝６人、銅色達成章（100 時間）＝８人

▲令和元年度銀色達成章の贈呈を受ける杣木さん

かるたをとおして郷土の歴史や文化に親しむ

町長杯西会津かるた大会

２月 27 日、第３回町長杯西会津かるた大会が西会津小学校で開催されました。本大会は、町の歴史や文化などをテーマとする「西会津かるた」をとおして郷土への理解を深めることを目的に平成 30 年度から開催しています。試合はトーナメント方式で行われ、当日は児童 20 人が参加しました。白熱した試合の結果、低学年の部では二瓶茉咲（まさき）さん（２年）、中学年の部では二木優奈（ゆうな）さん（４年）、高学年の部では伊藤心音（ここね）さん（５年）が優勝しました。

▲各ブロックで優勝した皆さん。写真左から二瓶茉咲さん、二木優奈さん、伊藤心音さん

元気いっぱい雪遊び

こゆりこども園にジャンボすべり台

西会津建設業組合の皆さんのご厚意で、こゆりこども園の園庭に雪のジャンボすべり台が作られました。園庭のほぼ全体を占めるほどのジャンボすべり台を一目見た園児たちは、大きな歓声をあげ、青空の下、夢中になってそり遊びを楽しんでいました。［写真：２月 12 日撮影］

コロナ禍の運動指導実践 西会津中でオンライン開催

3月4日、会津大学短期大学部講師で、運動生理学やトレーニング科学を専門とする渡部琢也先生による「コロナ禍における運動指導実践」が西会津中学校2年生を対象に行われました。

これは、会津大学短期大学部がコロナ禍における運動不足の解消や、運動する機会の創出を目的に行っている事業です。小・中学生や高齢者といったさまざまな世代ごとに作成された運動メニューに基づき、学校や福祉施設での運動指導を行っています。

この日は、会津若松市にある会津大学短期大学部の校舎と、西会津中学校多目的ホールをオンラインでつなぎ、指導が行われました。

渡部先生の自己紹介の後、はじめに生徒たちが前屈で体がどのくらい曲がるのか、また、目を閉じたままでの片足立ちを何秒間できるのかをそれぞれ確認しました。

続いて、短期大学部の学生が柔軟性や体幹を整えるための「くの字運動」や「Sの字運動」、「ラディアン」など、限られたスペースでも気軽にできる運動の実技指導を行いました。

▲渡部先生より説明を受ける生徒たち

▲大学生からオンラインで指導を受けました

▶片足立ちをして運動前の感覚をチェック

▲体幹を整える効果がある「ラディアン」を体験する生徒たち

実技指導が終わると、再度、前屈と目を閉じたままでの片足立ちを行いました。運動前と運動後をそれぞれ比較し、その体の感覚の違いを体験しました。

参加した生徒たちは、コロナ禍においても、部屋の中などの広くないスペースで取り組める運動で、柔軟性や体幹を鍛えられることを学びました。

令和3年度は、小・中学生への運動指導や、幼児教育学科の学生によるこゆりこども園での運動教室などの新規事業を予定しており、引き続き会津大学短期大学部と連携を図っていきます。

「公民館だより」に関するお問い合わせは、生涯学習課・生涯学習係まで（☎45―3244）

西中図書館　新刊オススメ本

『これからの哲学入門』
［岸見 一郎 著］
幻冬舎

「私」とは、「生きる」とは、「愛する」とは、「働く」とは何か。「哲学」と聞いただけで難しいと思ってしまいませんか。

目次を見て、興味のある1ページだけでも読んでみましょう。

最後の項目にある一文を紹介します。

『何かの課題に取り組むとき、その課題があまりに困難だと思うと、できない理由を探し出します。今のままではいけない、現状を変えなければならない、「でも」といってしまうのです。「でも」といった時、それは「しない」という宣言です。』

『世界一効く 美顔づくりの教科書』
［木村 祐介 著］
学研プラス

『魔法のてぬきおやつ』
［てぬキッチン 著］
ワニブックス

第164回芥川賞受賞作品
『推し、燃ゆ』
［宇佐見 りん 著］
河出書房新社

第164回直木賞受賞作品
『心淋し川』
［西條 奈加 著］
集英社

町民ギャラリー　まんさく俳句会

夫と行く豪華客船春の夢
長谷川　清子（野沢下小屋）

雪囲ひ解くや隣の近くなる
佐藤　ミエ子（野沢本町）

外出にむずかる孫や春の川
田崎　宗作（小杉山）

水温み鉋研ぐ手の絆創膏
西尾　公子（野沢上原）

啓蟄（けいちつ）やポストの鍵を子等覗く
矢部　弘子（中町）

春の川木橋でつなぐ隣村
矢部　征男（松峯）

町内児童生徒がさまざまな分野で活躍！
功績をたたえ 教育顕彰表彰式

町教育委員会では2月26日、西会津小学校多目的ホールで令和2年度町教育顕彰表彰式を開催し、本年度は、さまざまな分野で活躍した児童生徒の皆さん（個人表彰が19人、団体表彰では1団体）を表彰しました。

表彰式では、江添信城教育長が出席した受賞者へ表彰状を贈り、薄友喜町長、清野佐一町議会議長が祝辞を述べ、受賞者の皆さんを激励しました。式の最後には、表彰者を代表し、鈴木爽夏さん（喜多方高2年）が「今後も結果を残して町を盛り上げられるよう努力していきたい」と謝辞を述べました。

1 文化財の保護に貢献

故・齋藤宏一氏［3町内］＝町文化財調査委員ならびに文化財保護審議会委員を16年4カ月務め、町の文化財の保護に尽力

2 各種コンクール、競技会等で活躍した児童生徒（個人）

［敬称略］

西会津小4年＝眞部煌［芝草］令和2年度福島県火災予防絵画・ポスターコンクール小学生高学年部門（優秀賞）、**目黒心温［牛尾］**IBKO全日本空手道選手権予選大会および福島県錬成大会小学4年男子の部（第3位）

西会津小6年＝鈴木果恋［森野］第70回社会を明るくする運動作文コンテスト小学生の部（優秀賞）、**大槻茉紘［7町内］**第74回福島県下小・中学校音楽祭第3部創作小学校の部（銅賞）

西会津中1年＝清野結菜［堀越］福島県中学校生徒造形作品秀作審査会平面絵画の部（特選）、**渡部咲衣［上小島］**福島県中学校生徒造形作品秀作審査会平面絵画の部（特選）

西会津中2年＝折笠遥南［5町内］福島県中学校生徒造形作品秀作審査会立体彫刻の部（特選）、**伊藤詩野［6町内］**福島県中学校生徒造形作品秀作審査会立体彫刻の部（特選）

西会津小4年＝眞部煌［芝草］令和2年度福島県火災予防絵画・ポスターコンクール全国2位

喜多方高2年＝鈴木爽夏［森野］第35回東北高等学校選抜ボート大会女子ダブルスカル（優勝）

郡山女子大学附属高2年＝三留綾華［西平］令和2年度福島県高等学校新人体育大会剣道競技女子団体（優勝）

3 各種コンクール、競技会等で活躍した児童生徒（団体）

にしあいづJVスポーツ少年団＝第43回福島県小学生バレーボール選手権大会女子の部（準優勝）

西会津中3年＝岩原遥音［さゆりが丘］福島県中学校生徒造形作品秀作審査会平面絵画の部（特選）、**渡部紫音［芝草］**福島県中学校生徒造形作品秀作審査会平面絵画の部（特選）

▶受賞者を代表して謝辞を述べる鈴木爽夏さん

会津学鳳高1年＝三留拓真［西平］第40回福島県高等学校選抜剣道優勝大会男子団体（第3位）

会津若松ザベリオ学園高1年＝長谷川姫菜［西原］第60回福島県高等学校新人体育大会陸上競技大会女子やり投げ（第7位）

会津高2年＝伊藤大河［6町内］第60回福島県高等学校新人体育大会陸上競技大会男子5000㍍（第4位）

会津学鳳高2年＝外島央［下野尻］第25回東北高等学校新人陸上競技選手権大会女子走幅跳び（第3位）、**貝沼希実［上野尻］**日学・黒板アート甲子園2020（優秀賞・

32人の子どもたちが西会津小学校に入学
ぼくたち わたしたち 新1年生

この春、西会津小学校に入学する32人の新1年生を紹介します。今年の1年生は、平成26年4月2日から平成27年4月1日までに生まれた皆さんです。ご入学おめでとうございます。　〈問い合わせ先〉学校教育課　教育総務係　☎45―2216

1町内	髙松　光莉さん	9町内2	薄　奏介くん	萱本	五十嵐　潤くん	高目	福地　陽太くん
4町内	佐々木心紀さん		鈴木　陽空くん	下小島	伊藤　暖馬くん	滑沢	佐藤　蓮信くん
	佐藤　瑞希さん	芝草	須藤　晴音さん	西林	五十嵐陽織さん	橋屋	古川友乃信くん
	長谷川　翔くん		西田　学斗くん	西林東	長谷沼伶衣菜さん	向原	佐藤　正英くん
5町内	伊藤　奏人くん	西原	江川　日和さん	さゆりが丘	三留　瑠莉さん	道目	猪俣　優太くん
7町内	中田　翼稀くん		佐藤　紅蓮さん	上小島	佐藤　美緒さん		
9町内1	青木　俐玖くん	森野	足立　響輝くん	出ケ原	伊藤　圭未さん		
	神田　葵くん		井上　煌雅くん	下野尻	塚原　明音さん		
	二瓶　遥真さん		佐々木奏太くん	徳沢	佐藤　結飛くん		

議案23件を審議・可決
3月町議会定例会報告

3月5日から16日までを会期に開かれた令和3年第3回町議会定例会では、条例の一部改正や令和2年度補正予算、令和3年度予算など議案23件が審議されました。町政の主要事項報告の内容および可決された議案は次のとおりです。

町政の主要事項報告から

町の新型コロナウイルス感染症対策――

町では、2月12日に町対策本部会議を開催し、県がこれまでの緊急対策を重点対策に切り替えたことに伴い、今後の対応について協議を行いました。その結果、これまでの県の緊急対策に合わせて町が実施していた公共施設の利用制限について、重点対策期間である3月7日までの間、さゆり公園体育館の町外団体の利用制限と屋内プールの町外利用者への利用自粛の継続を決定しました。併せて、町ケーブルテレビにより、引き続き緊急事態宣言対象地域との不要・不急の往来の自粛要請や、感染対策が徹底されていない酒類の提供を行う飲食店などの利用を控えること、感染リスクが高まる「5つの場面」を意識した慎重な行動のお願いを放送し、町民の皆さんへのご理解とご協力をお願いしたところです。

引き続き、町内の感染拡大防止を図るため「新しい生活様式の実践」と「3密の回避」、「マスクの着用」や「小まめな手洗い」、「身体的距離の確保」などの基本的な感染防止対策を徹底するよう、町民の皆さんへ周知徹底を図っていきます。

▲役場分庁舎前に設置した新型コロナウイルスワクチン接種相談窓口

新型コロナウイルスのワクチン接種――

新型コロナウイルスのワクチン接種については、2月に地区の保健指導員を通して、町内の16歳以上の全町民に対し、ワクチン接種の希望の有無についての意向調査を実施しました。

また、4月以降から始まるワクチン接種を迅速かつ適切に実施するため、2月22日付けで「西会津町新型コロナウイルスワクチン接種推進チーム」を設置しました。

ワクチン接種推進チームは、副町長を総括とし、健康増進課と西会津診療所の職員などで構成します。同チームは、ワクチンの接種計画の策定やクーポン券の送付、相談や予約の受付、接種会場の運営、関係機関との調整、接種記録の管理などの業務を行います。

西会津町デジタル戦略の策定――

本戦略の策定については、昨年10月1日付けで町デジタル戦略アドバイザーに委嘱した公立大学法人会津大学の藤井靖史客員准教授より助言・指導を受けながら、町民、中学生、関係者との意見交換を行うとともに、職員研修を開催し、その中で出されたさまざまな意見などを反映し、策定作業を進め、基本理念・ビジョンと6つの戦略から成る「西会津町デジタル戦略」を策定しました。

また、本年4月からは、新たに、最高デジタル責任者（CDO）を設置するとともに、企画情報課内にデジタル戦略室を組織します。併せて西会津町デジタル戦略推進本部を立ち上げ、町のデジタル施策およびデジタル技術を活用した業務改革を総合的かつ効果的に推進していきます。

株式会社アドレスとの連携・協力に関する協定の締結――

地方への移住や、都市部の仕事を地方でしたいといったニーズの高まりなどを背景に、日本各地の登録物件に会員が定額で住める「多拠点居住の住まいのシェアサービス」を展開する株式会社アドレスと、町内の空き家など遊休資産の有効活用や、関係人口の増加による地域活性化を目的に、連携・協力に関する協定を締結する運びとなりました。これを契機に、今後は、多拠点居住やワーケーションを推進し、関係人口の増加はもとより、空き家利活用の促進を図っていきます。

ふるさと応援寄附金事業――

本事業については、ふるさとチョイスなどの7つのウェブサイトの活用や、多くの皆さんにご協力とご支援をお願いしてきたところです。この結果、令和3年2月28日現在で5678件、1億5605万8千円の寄付額となり、昨年度と比較すると3887件、1億2947万4千円の増となっています。

西会津産米の販売促進活動――

令和2年度は、コロナ禍の影響でトップセールスなどの販売促進活動は自粛してきましたが、昨年11月18日に、平成27年産米から「西会津げんき米」の取引をしている「コープきんき」が産地訪問で来町し、家庭内での消費が増加していることから、今後、さらなる取扱量の拡大に向け連携・協力して取り組むことを確認しました。また、ふるさと応援寄附金事業において、前年度に増して米の取扱量が大幅に増加しているなど、コロナ禍においても西会津産米の消費拡大に取り組んでいます。

令和2年産米については、全国的に天候不順による品質の低下が見られる中、会津よつば農協への出荷状況では、本町の一等米比率は95・8%、また、食味計で測定した全件数の平均値は81点と大変高い値でありました。

さらに、菌床キノコについては、全国の菌床シイタケ生産者が加盟する協議会の品評会で、町内に事業所を置く「西会津しいたけファーム」が6年連続の金賞を受賞し、西会津産シイタケの品質が高く評価されました。

会津地域鳥獣被害防止広域対策推進協議会の設立――

全国的に野生鳥獣による農地・農作物への被害が拡大する中、ツキノワグマやイノシシなどを捕獲する際に使用するライフル・スラッグ弾の射撃場が会津地方にないことから、会津地方振興局と管内13市町村で構成される会津地域課題解決連携推進会議において、捕獲活動の安全確保と体制強化を図るため射撃場施設整備に向けた協議を重ねてきました。今回、13市町村の連携により整備を進める旨の合意形成が図られ、事業主体となる本協議会を2月5日に設立し、令和4年度の施設整備に向けて取り組んでいきます。

なお、令和3年2月28日現在における有害鳥獣捕獲件数は、クマ87頭、サル87頭、イノシシ86頭で、今後も継続した捕獲活動に取り組んでいきます。

可決された議案

◆**町デマンドバス運行条例の一部改正**＝デマンドバスの利用増進に向けた使用料の見直しに伴う所要の改正

◆**町税条例の一部改正**＝令和4年・5年度の軽自動車税に係る規定について地方税法の一部改正に伴う所要の改正

◆**町介護保険条例の一部改正**＝第8期介護保険事業計画に定める第一号被保険者の介護保険料や、低所得者の軽減強化に係る特例措置を設定する所要の改正

◆**町下水道排水設備工事費貸付基金の設置及び管理に関する条例の廃止**＝所期の目的を達成したことによる条例の廃止

◆**令和2年度一般会計補正予算（第13次）**＝事業費確定や既定予算の最終的な整理など494万9千円を増額

◆**令和2年度一般会計補正予算（第14次）**＝除雪事業に係る経費1198万2千円を増額

◆**令和2年度特別会計補正予算（後期高齢者医療・国民健康保険・介護保険特別会計、水道・下水道事業会計）**＝各会計において、補助事業などの事業費確定や既定予算の最終的な整理等を行う補正

◆**令和3年度一般会計予算**＝総額59億1500万円（対前年度比3億800万円、4・9%の減）

◆**令和3年度一般会計補正予算（第1次）**＝新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金第3次分に係る関係事業費やワクチン接種事業に係る経費9711万5千円を増額

◆**令和3年度特別会計等予算**＝工業団地造成事業・住宅団地造成事業・後期高齢者医療・国民健康保険・介護保険特別会計、水道・下水道事業会計

◆**令和3年度町国民健康保険特別会計補正予算（第1次）**＝新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金第3次分に係る事業費1043万1千円を増額

◆**町第8期介護保険事業計画・第9期高齢者福祉計画の策定**

◆**喜多方地方広域市町村圏組合規約の変更**＝組合事務所の移転に伴う変更

年々増加する鳥獣被害の現状を伝える
有害鳥獣対策活動成果報告会

町では、町内各地でイノシシ、ニホンザル、ツキノワグマによる農作物などへの被害が増えており、その現状と効果的な対策について情報を共有するため、西会津地域活性化協議会と共催で、２月 27 日に「有害鳥獣対策活動成果報告会」を開催しました。

報告会ではまず、町農林振興課職員が平成 27 年度からの有害鳥獣被害の現状について、年々、被害額や被害面積が増加している状況を報告しました。続いて、鳥獣被害対策専門員からは、町や自治区で取り組んでいるわなや電気柵、鳥獣の生態を確認するセンサーカメラ設置による対策のほか、集落周辺への出没を抑制するために里山林を間伐するなどを行ったことを報告しました。

最後には質疑応答が行われ、参加者の皆さんからは有害鳥獣対策に関する質問や要望などがあげられ、有意義な報告会となりました。

第 11 回地域再生大賞で北海道・東北ブロック賞に輝く
一般社団法人ＢＯＯＴが受賞

西会津国際芸術村の運営を受託している一般社団法人ＢＯＯＴが第 11 回地域再生大賞で北海道・東北ブロック賞に輝きました。表彰式は２月 16 日に西会津国際芸術村で行われ、矢部佳宏代表理事（写真左）に福島民報社の五十嵐稔会津若松支社長（写真右）から表彰状などが伝達されました。

一般社団法人ＢＯＯＴは、西会津国際芸術村を拠点に、滞在アーティストによるイベントの運営のほか、移住や二地域居住を希望する人への支援、創業支援、起業家育成などに取り組んでいます。

◆地域再生大賞とは

全国の地方新聞 46 紙と共同通信社が、地元に活気をもたらし、全国のモデルとなる活動に取り組む団体を表彰しようと平成22年度に創設しました。今年度は、全国各紙から推薦された50団体の中から、大賞、準大賞などが選ばれました。ブロック賞は上位４番目相当の賞となります。

まちづくりのための大切な１票です
町長選挙の日程が決まりました

本年８月４日の任期満了に伴う町長選挙の日程が、３月１日に開催された町選挙管理委員会で決定しました。

投票時間などの具体的な内容については、６月に開催される選挙管理委員会で決定します。

◆告示日　7月 13 日（火）

◆投票日　7月 18 日（日）

〈問い合わせ先〉　町選挙管理委員会　☎４５―２２１１

よりよい運行にご協力お願いします
デマンドバスの料金が変わります

４月１日より、デマンドバスの料金が次の内容に変更となります。４月以降の利用の際はご注意ください。

◆変更点

①町外者料金「大人」「小人・70 歳以上」の金額を変更

②未登録・当日予約者料金のうち、「小人・70 歳以上」の金額を変更

③利用者に「手回品」の料金を新たに設定（シニアカーなど介護用品を除く）

手回品料金が発生する基準（下記のいずれかに該当するもの）

・重量：10㌔以上 30㌔以内

・大きさ：0.027 立方㍍以上 0.25 立方㍍以内

・長さ：１㍍以上２㍍以内

≪具体例≫
登山用リュック など

問い合わせ先
町民税務課
町民生活係
☎45―2215

◆デマンドバス利用料金表（令和３年４月１日より）　※赤字の部分が変更箇所です。

区　　分	登録済者で前日までに予約	未登録者・当日予約	町外者
大人（中学生から 69 歳まで）	２００円	３００円	**３００円**
小人（小学生）・70 歳以上	１００円	**１５０円**	**１５０円**
新 手回品（てまわりひん）	**１００円**	**１５０円**	**１５０円**

西会津地域活性化協議会 農林産物等集荷・買い物支援部会 活動報告
ミネラル野菜普及会を対象にスマートフォン講習会

西会津地域活性化協議会・農林産物等集荷・買い物支援部会では、農林水産省の補助事業「農山漁村振興交付金」を活用し、農家の高齢化が進む中、円滑な農林産物の集荷および買い物の支援体制づくりを検討しています。

２月 18 日には、実証実験の一環でミネラル野菜普及会役員を対象にＩＣＴを活用したネットワークづくりを目的として、株式会社ＮＴＴドコモの協力の下、スマートフォン講習会を開催しました。同普及会の役員の皆さんは、ＮＴＴドコモが準備したスマートフォンを使って、カメラや地図アプリ、コミュニケーションツールアプリの操作方法を学びました。

参加者の中には、初めてスマートフォンを触る人もいましたが、意欲的に研修を受けていました。今後は専門員への相談や栽培指導、情報の共有など営農活動に活用できないかを検討していきます。

これからも町の話題やニュースをお届けします

広報にしあいづのロゴが新しくなりました！

昭和30年6月に町公民館が発行した「公民館報」を前身とし、昭和32年4月から発行している「広報にしあいづ」は、今月号で７５０号を迎えました。この節目にあたり、表紙に使われている題字のロゴを新しくしました。

ロゴの作成は、地域おこし協力隊でコピーライターとしても活動している西道紗恵さんの紹介で、大阪・京都を拠点に活動しているデザイナーの森倉ヒロキさんに依頼しました。京都府在住の森倉さんとは、オンラインでの打合せを重ね、町の自然や文化、広報にしあいづのことなどを知ってもらった上で、ロゴ案を作成してもらいました。

今回の新しいロゴでは、これまでのローマ字から平仮名に変更し、題字が一目で分かるように読みやすさを重視しました。

にしあいづ

にしあいづ

◆ロゴに込められた思い

「みんなに優しく、みんなに愛される広報紙」をコンセプトに、平仮名の持つ丸みのある優しさ、温かさに着目して制作しました。平仮名を使うことで、子どもから高齢者まで全世代の町民の皆さんに読んでもらえるようにとの願いが込められています。

また、既存のフォント（書体）ではなく手描きしたものを加工し、町名の「にしあいづ」にある「あい（＝愛）」を目立つように各号ごとに配色を行います。

森倉ヒロキ さん

制作者より

ロゴを作るにあたって、何回もヒアリングを行わせていただきました。ともに悩み、ともに考えたこのロゴは広報紙担当の秦さんと二人三脚で作ったロゴだと思っています。『西会津のいいところは人の温かさです』と秦さんは話していました。そんな、温かいロゴになったと思っています。

プロフィール

大阪府出身。フリーランスのデザイナー。大阪と京都を拠点に活動中。ロゴなどのデザイン制作だけでなく、販促企画などにも携わる。

以下は有料広告です。詳細は広告主に問い合わせください。

有料広告を募集しています

紙面に掲載する有料広告を募集しています。
詳しくはお問い合わせください。

◆大きさ　１枠当たり縦４．０㎝×横８．５㎝
◆掲載料　１枠当たり５，０００円／月

〈問い合わせ先〉
企画情報課　情報政策係　☎４５－４５３６

お知らせ INFORMATION

忘れていませんか？風しんの抗体検査を受けましょう

昭和37年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性は、無料で風しんの抗体検査を受けることができます。

令和3年度が最終年度です。対象者に配付したクーポン券を忘れずに持参し、検査を受けましょう。

◆検査を受けられる場所

①町の健診（働き盛り健診＝8月22日・9月5日、総合健診＝8～9月）

②全国の医療機関

③事業所の健診（勤務先へ問い合わせください）

◆持参するもの

クーポン券、保険証

◎予防接種について

抗体検査の結果、抗体価が低い場合は無料で予防接種が受けられます。

◆接種を受けられる場所

全国の医療機関

◆持参するもの

抗体検査の結果、クーポン券、保険証

※転入した人や、クーポン券などを紛失した人は連絡ください。

〈問い合わせ先〉

福祉介護課　子育て支援係　☎45―4332

令和2年度除排雪費用助成が終了

令和2年度の除排雪費用助成（給付券）事業は、3月31日をもって終了しました。

給付券は、有効期限の令和3年3月31日以降は使用できません。未使用の給付券がある場合は、各自で破棄または処分をお願いします。

なお、除雪作業の支払いを給付券で受けた登録事業者の皆さんは、請求漏れの無いよう注意してください。請求は4月中にお願いします。

〈問い合わせ先〉

福祉介護課　福祉係　☎45―2214

山菜類モニタリング検査を受付中

県内で生産または採取・出荷される野生山菜、栽培キノコなどは安全性を確認するため、モニタリング検査を実施しています。

出荷を考えている人は、採取が本格化する前の早い時期にモニタリング検査を実施するようお願いします。また、検査を希望する場合は、事前に下記担当まで問い合わせください。

〈問い合わせ先〉

農林振興課　林政係　☎45―4531

有毒植物に注意しましょう

山菜取りなどで有毒な野草を誤って採取し食べたことによる食中毒が毎年発生しています。食用の野草と確実に判断できない植物は絶対に採取しないでください。万が一、野草を食べて体調が悪くなった場合はすぐに医師の診察を受けてください。食用と間違いやすい有毒植物は、イヌサフラン、スイセン、トリカブト、ヒメザゼンソウなどがあります。見分けに迷った場合は保健所へ相談ください。

〈問い合わせ先〉

農林振興課　林政係　☎45―4531

会津保健所　衛生推進課　☎0242―29―5516

▲スイセン

新型コロナワクチン接種に便乗した詐欺に注意！

新型コロナウイルス感染症に係るワクチン接種のために必要とかたり、金銭や個人情報をだましとろうとする電話に関する相談が増えています。**市町村などが、ワクチン接種のために金銭や個人情報を電話やメールで求めることはありません。**

不審に思ったときや困ったときは一人で悩まず、気軽に相談ください。

〈相談・問い合わせ先〉

消費者ホットライン　☎１８８

冬期間の漏水について

今年の冬は急激に冷え込み、水道管の凍結や破損による漏水の情報が多く寄せられました。毎年、留守宅や集会所、会社などでも大きな漏水が発生しています。宅内漏水をそのままにしておくと、4月のメーター検針再開時に思わぬ高額な水道料金が請求されることがありますので、注意してください。

〈問い合わせ先〉
建設水道課　上下水道係
☎45―4534

水道メーター検針再開のお知らせ

冬期間中止していたメーター検針を4月から再開します。毎月20日～22日に検針員が検針を行いますので、メーターボックス周辺の片付けをお願いします。

◆冬期間の水道料金

9月～11月分の使用水量の平均で納めていただいた12月～3月分の水道料金は、4月の検針結果に基づき、過不足分を精算します。

※漏水などにより水道料金が高額になった際は、一部減免できる場合があります。

◆次のような場合は届出を

○水道・下水道の使用を開始したいとき、やめたいとき（届出は5営業日前までにお願いします）
○長期不在になるとき
○世帯人数に変更があるとき（転入・転出・出生・死亡など）
○使用者（または所有者）名義の人が亡くなった、または転居したとき
○水道・下水道使用料金を口座振替にしたい、または振替口座を変更したいとき
○水道・下水道を新たに入れたいとき

〈問い合わせ先〉
建設水道課
上下水道係
☎45―4534

漏水などによる水道料金の減免

水道管の凍結や老朽化などによる漏水が原因で水道使用料金が高額になった場合、町指定給水工事事業者による漏水修理を行い、減免申請をすることで、水道料金の減免措置を受けられます。

◆減免の対象となるもの

○地下漏水など（給水管破裂、接合不良、メーター接合不良、壁の中などの容易に発見できない給水管破裂など）
○不凍水抜栓の不良による漏水（接合不良、パッキン不良など）
○特殊器具および高架タンクの給水設備の器具不良による漏水
○凍結に伴う給水管破裂による漏水（積雪のため漏水箇所が容易に発見できない場合に限る）
○不凍水抜栓の操作不良による漏水（半開閉など）
※故意に給水装置を損傷した場合や、漏水の事実を知りながら修理を怠っていた場合などは対象となりません。

◆減免となる料金

メーター検針で分かった水量から、前年同時期の使用水量または前3カ月平均使用水量のいずれか少ない方を差し引いた水量の2分の1を免除します。免除する期間は最高4カ月までです。

◆減免の申請方法

減免申請書などは、町指定給水工事事業者を通じて作成しますので、施工業者に相談してください。

◆町指定給水工事事業者

事業者一覧については、町ホームページを確認するか、町建設水道課まで問い合わせください。

町ホームページはこちらから

〈問い合わせ先〉
建設水道課　上下水道係
☎45―4534

以下は有料広告です。詳細は広告主に問い合わせください。

有料広告を募集しています

紙面に掲載する有料広告を募集しています。
詳しくはお問い合わせください。

◆大きさ　1枠当たり縦4.0㎝×横8.5㎝
◆掲載料　1枠当たり5,000円／月

〈問い合わせ先〉
企画情報課　情報政策係　☎45－4536

認知症ケアパスが新しくなりました

町では、認知症になっても安心した暮らしを続けられるまちづくりを進めるため、できる限り住み慣れた地域で、にしあいづ地域包括支援センターの協力を得て、西会津町認知症支援ガイド（認知症ケアパス）改訂版を作成し、4月中に町内全戸への配布を予定しています。

「認知症ケアパス」とは、認知症状が見られる場合や認知症が疑われる場合に、本人とその家族や地域の人が、症状や進行の度合いに応じて、「いつ」「どこで」「どのような」相談や支援を受ければよいか、窓口となる機関や支援の内容を分かりやすく冊子にまとめたものです。

認知症は誰でもなる可能性があります。認知症の症状を正しく理解し、症状に応じた適切な接し方や支援の方法を知ることが認知症理解の第一歩です。身近な認知症サポーターとして、この認知症ケアパスをご活用ください。

〈相談・問い合わせ先〉
福祉介護課　介護係
☎45―2214
にしあいづ地域包括支援センター
☎45―3327

喜多方税務署からのお知らせ

令和2年分所得税などの申告・納付期限は、次のとおり延長されました。

◆申告所得税・復興特別所得税、贈与税、個人事業者の消費税・地方消費税
4月15日（木）

※振替納税の振替日についても延長されました。詳しくは国税庁ホームページを確認してください。

〈問い合わせ先〉
喜多方税務署
☎0241―24―5050
（音声ガイダンスに従い「2番」を選択してください）

ケーブルテレビ さゆりチャンネル 4月の放送案内

◆にしあいづニュースワイド

町内の話題、お知らせなどを放送中！
（平日・午後6時30分～ほか）

◆企画番組

農林業番組、にしあいづさすけねぇ輪などを放送中！
（午前11時～ほか）

◆マイビデオ募集中！

町民の皆さんが撮影した映像をケーブルテレビで放送しませんか。地域の行事や行楽などの様子を撮影してお寄せください。

〈問い合わせ先〉
一般社団法人
西会津ケーブルネット
☎45―4461

赤十字救援車を配置しました

町では、令和2年度に日本赤十字社の補助金を活用して、赤十字救援車を配置しました。この赤十字救援車は、災害発生時の救護・救援のほか、赤十字事業の推進などに使用します。

〈問い合わせ先〉
福祉介護課　介護係
☎45―2214

▶配置された赤十字救援車

春の全国交通安全運動

4月6日（火）～15日（木）の10日間
10日（土）は交通事故死ゼロを目指す日

◆運動スローガン
「ぼくを見て　横断歩道の　小さな手」

◆年間スローガン
「わたります　止まるやさしさ　ありがとう」

◆運動の重点
①子どもと高齢者をはじめとする歩行者の安全の確保
②自転車の安全利用の推進
③歩行者などの保護をはじめとする安全運転意識の向上

皆さんこんにちは！
地域おこし協力隊の池田です。
今月の集落支援だよりでは、西会津かるたアプリ版の試作、屋敷地区でのパソコン・スマートフォン講習会について紹介します。

西会津かるたアプリ版の試作

皆さんは、「西会津かるた」を知っていますか？

町では、町内に住む子どもたちの郷土愛を育むため、群馬県の「上毛かるた」を参考にして、「西会津かるた」を5年ほど前に制作しました。このかるたでは、「あいばんしょ 阿賀川流れる 西会津」、「なじょな願い 大山様は 聞きなさる」などの札があり、子どもたちが町のさまざまな事物に、楽しみながら親しめるものとなっています。

現在、江添教育長の発案で、この「西会津かるた」を西会津小・中学校に配布されているタブレット端末で遊べるように、アプリ版の試作開発を、ＩＣＴ教育支援担当地域おこし協力隊の長谷川隊員とともに進めています。私もプログラマーだった経験を生かし、集落支援業務と並行してプログラミング部分の開発に携わっています。

このアプリを通して、子どもたちの郷土愛を育むだけでなく、将来的には町の関係人口の増加にもつながることを期待して、制作に取り組んでいます。

3月末時点では、まだ試作初版が完成したばかりで、実際にアプリで遊んでもらえるまでは開発が進んでいません。早く小・中学生や町民の皆さんにこのアプリで「西会津かるた」を楽しんでもらえるよう、引き続き開発を進めていきます。

タブレット端末上での「西会津かるたアプリ版」試作の画面。読み札は自動音声で読み上げられる

屋敷地区でパソコン・スマホ講習会

屋敷地区では、地域の皆さんによるパソコン・スマートフォン講習会が開かれています。これは、「持っているけれど使い方がよく分からない」との皆さんのからの声をきっかけに始まったもので、普通の講習会とは異なった「雑談的な雰囲気の中で、急ぎ過ぎずゆっくりと進めていきたい」という考えの下で進められています。

また、パソコンやスマホなどの機器を使うことが体や脳への刺激になり、いつまでも元気な心と体を維持しつつ、テレビ電話機能などを使うことで遠方の家族との会話や高齢者の見守りにつなげることも狙いとしてます。

まだ始まったばかりの取り組みのため、現在は私が講師を務めていますが、今後は地域の皆さんが講師を担い、お互いに使い方を教え合う講習会を目指しています。

参加者の皆さんは雑談を交えながら、パソコンなどの電源の入れ方や文字の打ち方、ＹｏｕＴｕｂｅで興味のある動画を探して見る方法などを学び、毎週楽しい講習会が続いています。

パソコン講習会の様子

『食べること』で さすけねぇわ（輪）の健康づくり

町では、令和2年3月に食育推進計画を含む「西会津町健康増進計画（第2期）」を策定しました。栄養・食生活は、生活習慣病の予防や生活の質の向上などの面から重要な役割を担っています。

コロナ禍では、家で食事をする機会が増え、家庭料理に注目が集まっています。この機会に、自分の食生活を見直してみませんか？

町の栄養目標

町の栄養目標は、「**減塩**」と「**野菜摂取量の増加**」です。町の食塩摂取量の平均は、男女ともに県平均よりも多く、一人一人が塩分をとり過ぎないように改善が必要です。また、野菜摂取量についても、町が実施したアンケートにおいて「野菜料理を1日3回以上食べる」と回答した人が35・6％にとどまっており、令和8年度には60％の目標を達成できるよう啓発などに取り組んでいます。

食のイメージアップ事業

令和2年10月から、栄養士で料理研究家の本田よう一さんから指導を受け、食育の推進など食のイメージアップを図っています。今年の町民健康カレンダーに「西会津の美味しい野菜をたくさん食べよう!!」と題して、旬の食材を活用し、身近な材料を使った手軽な料理レシピを提供してもらいました。また、本田さんが自宅で調理した様子を、毎月第2、第4水曜日に町ケーブルテレビで放送しています。

今後も本田さんには、食育教室や講演会などを通して、料理が楽しく、心も体も健康的な食事づくりと、人と人のきずなづくりを応援してもらいます。

本田 よう一 さん

泉崎村出身。2006年より料理研究家として活動中。素材の味を生かした野菜料理が得意で、家族みんなで楽しめる味付けに定評がある。

◀ 本田さんのホームページはこちら！

食環境の整備を推進

最近は、町内の食品を取り扱う店舗でも減塩しょうゆなどの減塩商品が販売されています。現在、町内7店舗において、減塩商品の魅力や目印となるよう、こゆりちゃんのステッカーなどの掲示を行っています。併せて、野菜を多く食べる意識を持ってもらえるようポスターも掲示しています。町内では、減塩しょうゆなどの調味料や、カット野菜の売り上げが伸びている嬉しい変化も出ています。町民の皆さん一人一人が、少しずつできることから意識して取り組んでみましょう。

町内小売店で掲示しています

汁物の塩分を測定しませんか？

町健康増進課では、汁物の塩分を測定する機器を導入しています。我が家の汁物の塩分が気になる人は、塩分測定を行えますので気軽に連絡ください。

測定方法は、汁物の汁（鍋全体を混ぜ、上澄みだけでないもの）をきれいに洗った瓶などに50cc程度（おたま約1杯分）入れて、健康増進課に持参してください。また、自宅を訪問して測定も行っていますので、希望する場合は事前に問い合わせください。

塩分測定の様子

Person

町民バトンタッチ

長谷川（はせがわ） 貞男（さだお） さん［安座］

◆**趣味は？**
小さな家庭菜園

◆**熱中していることは？**
愛犬２匹の世話と、春と秋の山遊び

◆**自分を一言で表現すると？**
優柔不断

◆**あなたのモットーは？**
什の掟「ならぬことはならぬものです」

◆**最近感動したことは？**
昨年末から 96 歳の母が元気にミニデイサービスに通い始めたこと

◆**これからやってみたいことは？**
コロナ禍が落ち着いたら旅行にいきたい

◆**次の方を紹介してください**
Ｈ・Ｋさん

とっておきの物は？

25 年程前に手に入れたナイキのシューズ。かかとのロゴがアッラー（イスラム教の唯一神）に触れるということから販売中止となった幻のモデルです。大事に保管してあり、一度も足を入れたことがありません。

江川 京子 さん（３月号）からメッセージ

愛犬のハナとサクラを連れてまた遊びに来てください。

Column

協力隊リレーコラム

東日本大震災から10年

私が福島に関わり始めて10年、西会津に来て３年が経ちました。10年前の当時は、正義感や向上心から東日本大震災について取材し、福島を被災地としてしか見ていなかったように思います。しかし、西会津に来て自分の知らなかった福島のさまざまな一面を発見・体験することができました。さらに、これまで住んでいた関西や関東とは違った東北の豊かな文化を感じることができました。地域おこし協力隊の任期終了後には、これまで西会津で培ったことを生かし、町の地域文化の発展に貢献していきたいと思っています。

また、昨年の秋からは、奥川地区に一軒家を借りて暮らし始めました。今年は個人事務所を設立し、ここを拠点に活動していこうと考えています。最近は人懐っこい猫を飼い始め、充実した生活を送っています。ぜひ遊びに来てください。

居村（いむら） 浩平（こうへい） 隊員

高知県出身。関西の美術大学卒業後、東京の美術館に勤務。いわき市の芸術文化活動を支援するNPO 法人で活動後、平成 30 年度より西会津町地域おこし協力隊に着任。情報発信担当。

Dream

聞いて！わたしの夢

［２年・サッカー部 部長］

清野（せいの） 樹（いつき） さん

◆私の夢――
僕は将来、建築士や設計士になりたいと思っています。特に、高層ビルやスタジアムなどの大型建造物の建築や設計に関わってみたいです。理由は、数年前に家族と一緒に東京へ旅行に行った時、たくさんの高層ビルなどを目にし、迫力と感激を感じたからです。

◆努力していること――
さまざまな建築物を観察するようにしています。身近な建物はもちろん、高層ビルやスタジアムなどの近くにない建物は、本やインターネットを使って調べています。

◆未来の自分に一言――
将来の自分の目標は変わっているかもしれませんが、何事にも真剣に取り組み、周りから信頼されるような人になってほしいです。

戸籍の窓口

（２月受付分）

■ まちの人口

	３月１日現在	（前月比）
人　口	５，９９２人	（－１４人）
男	２，８９９人	（－　６人）
女	３，０９３人	（－　８人）
世　帯	２，５７５世帯	（－　２世帯）

■ お誕生おめでとう

小川　乃楽祈（のらき）くん
VAN DERWEIJDEN,Wik Reinboud・美農里　安座

■ お悔やみ申し上げます

星　　實	（82）	寿紀	父	４町内
渡部　テル	（90）	英樹	母	堀越
平野　ヨネ子	（96）	良二	母	安座
小椋　京子	（97）	幸雄	母	西林
髙橋　チヤ	（96）	細野ｼﾞｽｴ	母	滑沢
五十嵐ミサ子	（78）	光喜	妻	滝坂

地域に伝わる伝説や民話、文化財などを紹介

にしあいづ物語100選 その48

文：樽井 清市

黒沢の自然が生み出した宮林の風穴と百戸沼

宮林の風穴

黒沢地区には、慶長16年（1611）に会津を襲った大地震の際、高力山（たかつと）が山体崩壊し、その時に大きな岩石が堆積してできた空洞が「宮林の風穴」となりました。現在も夏は涼風、冬は温風が穴の底から吹き上げ、冬でもここだけは雪が積もりません。四季を通して岩石は苔（こけ）むしてみずみずしく、真っ青で独特の空気感を醸し出しており、木々の間から差し込む日光に照らされて幻想的な空間が広がっています。

宮林の風穴からは今でも11月ごろの寒い日に大気の関係で水蒸気が真っすぐ上昇するのを何回か見ることができます。昭和40年頃までは、秋の寒い朝に風穴から吹き上がる真っ白な水蒸気が20㍍ほど舞い上がり、地元の人達は秋の天気を占うバロメーターとしていました。真っすぐ上昇するときは「晴れ」、川下にたなびく時は「雨」となり、地元の人達は秋の取入れに重宝していたようです。また、以前は風穴から水蒸気が上がる時、ゴーと音がしましたが、今でははかすかに聞き取れる程度です。

風穴の周辺には天神様、山の神、愛宕様などの石祠がいくつかあり、石灯籠には文化9年（1812）と彫られています。私が子供の頃は、4月1日にはコーセン祭を行っていました。このお祭りは何のためか定かでないですが、コーセンとは小麦や柿の皮を石臼で粉にし、わらで編んだワラダに入れてお詣りしました。お賽銭はみんなで分け、茶屋で買い込んだことを思い出します。

また慶長16年の大地震で山体が崩れて、木地夜鷹山の山中に百戸沼（ひゃっこぬま）ができました。大地震前の天正6年（1578）に加賀茂助・彦助兄弟が黒男鉱山を開いて金や銅を採掘し、百戸沼周辺には鉱山で働く人たち、木地師、漆かき職人たちで山小屋が480棟あったとされています。現在も、当時の面影として広大な慶成屋敷、上の屋敷、槍つき、三貫目などの鉱山跡を見ることができます。

今月の表紙

今月は昨年4月に町内で撮影した写真です。手前にある菜の花と奥の桜のコントラストで、色鮮やかな「春」の季節を感じていただければと思います。

編集後記

広報の新しいロゴの作成にあたり、森倉さんには計6案を提案していただきました。それぞれに色々な思いが込められており、このロゴを選ぶのにとても悩みましたが、今回のロゴに無事決まってホッとしています。広報紙の顔と言っても過言ではないロゴ、込められた思いとともに大切に使っていきたいと思います。

さて、今もなおコロナ禍による窮屈な日々が続いていますが、令和3年度も町の明るい話題や情報を町民の皆さんにお届けしていきたいと思います。これからも取材へのご協力よろしくお願いいたします！（秦）

にしあいづ
広報にしあいづ №750　令和3年4月号
発行／福島県西会津町　編集／企画情報課　TEL 0241-45-2211（代表）
ホームページ　https://www.town.nishiaizu.fukushima.jp/
PRINTED WITH SOY INK
この広報紙は、環境に優しい大豆油インキを使用しています。